

# 令和5年度 事業計画

一般社団法人 北海道子ども会育成連合会

## 令和5年度事業基本方針

本会は、設立時より、“遊びは子どもの栄養素”をモットーに地域での活動を実践する中で“地域に根ざした子ども会”を展開し、次代を担う青少年の育成を目指して活動を推進し、地域育成者・指導者の連絡提携並びに情報交換に資する様々な取り組みを行ってまいりました。

子ども時代の親からの惜しめない愛情と豊かな体験や交流、地域の様々な人との関わりが子どもの成長や自尊感情、自己肯定感など様々な影響を及ぼすことを我々はすでに承知しているところです。

しかし、私達の関わっている子どもたちの現状はとても厳しいものがあります。体力低下・学力低迷など子ども自身の問題と、いじめ、親を含めた大人からの虐待、自殺、異常者による事件、交通事故と様々な悲しい現状は、子どもの周辺環境の問題ととらえることができます。

さらに、少子化と貧困、都市への一極集中による地域の脆弱化、町内会活動の低迷など人と人の結びつきの希薄な状況という社会的問題ととらえられる厳しい状況があります。

そのような中で、令和2年から始まった新型コロナウイルス感染症は、子どもの生活と学ぶ環境に大きなダメージを与えました。各市町村の子ども会活動は自粛をよぎなくされ、体験と交流の活動ができないという子ども会活動の根幹を揺るがす大変な状況になりました。

令和5年度に向けてコロナの感染防止対策は大幅に緩和されつつあります。しかし、3年のブランクにより、育成者・指導者は、活動の流れを忘れ、子どもや保護者は、子ども会が楽しかった経験も無く、子ども会がどんな活動をしていたかもわからない、本当に多くの方に子ども会活動が忘れられる状況が起きています。育成者・指導者は子ども会の意義を改めて確認し子どもと共に、子どもの居場所を作り、「地域の子どもは 地域でしっかり育てていく」体制の確立を図るため、地域住民とともに皆様の英知を結集し子ども会活動を進めてまいりましょう。

また、安全思想<sup>\*</sup>の普及、安全教育の徹底を行うことにより事故の無い活動を推進していくとともに、あらゆる災害に備えて子どもとともに防災についても考えていかなければなりません。

これらの活動に取り組み、改めて子ども会の使命と役割を再確認し子どもが地域で安心して暮らし、一人ひとりがたくましく健やかに成長できる魅力ある活動が展開できるように、組織の充実や活動の活性化に取り組んでいきます。（\*安全思想：安全について心に思い浮かべる、考える事）

本会ではこれらのことをふまえ、令和5年度は次の方針で活動を進めます。

- 1 子どもが明るく、たくましく育つための良い環境作りを推進します。
- 2 社会状況に対応した魅力ある子ども会活動のあり方を研究し、実践します。
- 3 子ども会のリーダー、育成者、指導者の養成・確保に努め、子ども会活動を積極的に実践する活動家を増やしていきます。
- 4 安全教育の徹底を図り事故の無い活動を進めます。
- 5 関係機関・団体との連携を密に行い諸問題の早期解決を図ります。
- 6 新型コロナウイルス感染の発生状況に合わせて、対策を行ったうえで事業を進めます。

# 令和5年度事業計画

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

## (事業の趣旨)

道内市町村子ども会育成組織の連合体として、子ども会活動を育成するために必要な事業を行い、もって子どもの社会生活に必要な徳性のかん養及び子どもの健全育成に寄与することを目的とする。

## (事業の構成)

本事業は、下記により構成される。

- 1 育成・研修事業
  - (1) 北海道地域子ども会育成研究協議会開催事業
  - (2) 市町村子ども会事務担当者会議開催事業
  - (3) 北海道地域子ども会リーダー研修会開催事業
  - (4) 研修派遣事業
  - (5) 北海道地域ユース・リーダー研究協議会事業
- 2 体験交流等事業
  - (1) 北海道子どもかるた大会事業
  - (2) 親子ニュースポーツ体験・交流事業
  - (3) 親子で取り組む学習活動事業
- 3 広報事業
- 4 顕彰事業
- 5 その他の事業
  - (1) 安全対策及び北海道子ども会見舞金事業
  - (2) 関係機関、団体との連携
  - (3) レクリエーション講習
- 6 会議の開催

## (事業の内容)

新型コロナウイルス感染症の感染状況及び北海道の感染防止対策を基に、すべての事業の開催については現地集合開催を基本とするが、ネット開催、文書開催など柔軟に対応する。

### 1 育成・研修事業

#### (1) 北海道地域子ども会育成研究協議会開催事業

各地の子ども会をはじめ、青少年育成会の健全育成に関わる指導者や育成者を一堂に集め、地域における青少年の健やかな育成を図るための研修を行い、現在、抱えている諸問題の解決策や活動の進め方を研究協議する。

今年度は、全国子ども会育成中央会議・研究大会と合わせて開催する。

期 日： 令和5年10月27日（金）～28日（土） 開催予定

場 所： 札幌市 京王プラザホテル札幌

道立道民活動センター かでる 2・7

参加者： 150名 （全国大会 予定500名）

(2) 市町村子ども会事務担当者会議開催事業

道内各市町村で子ども会の事務局を担当している方が一堂に会して子ども会活動の進め方や行政との関係などをお互いに検討し、今後の道子連事業のあり方を含め円滑な事業推進の方策を協議するとともにお互いの活動の情報交換を行う。

期 日： 令和5年 4月14日（金） 開催予定

場 所： 札幌市 道立道民活動センター かでる 2・7

参加者： 40名

(3) 北海道地域子ども会リーダー研修会開催事業（同時開催 北海道子どもキャンプ）

子ども会活動は「子どもの手による子ども会」として子どもたちが自主的に活動できるようになることを目指している。そのためには、グループをまとめるリーダーが必要となり「1単位子ども会に1人のジュニアリーダー」を目標としている。

そこで、全道より募集してリーダーとして必要な知識や実技を学ぶとともに、各地のリーダーたちの情報交流の場となり、お互いの親睦を深めるための研修会を開催する。

同時に北海道子どもキャンプを開催し子どもたちに体験と交流の機会を提供する、と共にリーダーの実践の場とする。

今年度は2会場で開催し、1会場はNPO法人遊び屋本舗との連携事業とする。

期 日： 令和5年8月3日（木）～6日（日）

場 所： 道立青少年体験活動支援施設 ネイパル森

参加者： リーダー研修 20名

（対象 中学1年生～高校3年生）

： 子どもキャンプ 100名 1市町村最大10名予定

（対象 小学3年生～小学6年生）

期 日： 令和5年10月7日（土）～9日（月祝）

場 所： 国立大雪青少年交流の家

共 催： NPO法人遊び屋本舗

参加者： リーダー研修 20名

(対象 中学1年生～高校3年生)

: 子どもキャンプ 150名 1市町村最大10名予定

(対象 小学1年生～小学6年生)

#### (4) 研修派遣事業

全国的に新しい知識や技術の情報を得て、道内の活動に活かしていくために全子連等の開催する研修会等に関係者を派遣して対応する。

##### ア) 全国子ども会育成中央会議・研究大会

期 日： 令和5年10月27日～29日 開催予定

場 所： 北海道 札幌市

派遣者： 全国表彰受賞者

##### イ) 東海・北陸ジュニアリーダー研修会

期 日： 令和5年8月11日(金祝)～13日(日)

場 所： 福井県大野市 福井県立奥越高原青少年自然の家

##### ウ) 北海道・東北地区ユース・リーダー研究協議会事業

ジュニアリーダーや子ども会リーダー、子ども会への関わりや新しい知識・技術の情報を得て、道内の活動に活かしていくため様々な情報共有、交流をする研究会を開催する。

期 日： 令和5年度内 開催未定

場 所： 未定

参加者： 北海道・東北地区で活動しているユース・リーダー年齢相当

##### エ) 北海道・東北地区子ども会推進研究会

各地区の子ども会が具体的に取る方策を研究・提言する。各県4名で2名はユース世代とする。(交通費全子連負担)

期 日： 年間3回 時期未定

場 所： 宮城県仙台市(など未定)

## 2 体験交流等事業

### (1) 北海道子どもかるた大会事業

北海道遺産に認定された北海道の伝統文化である「下の句かるた」の保存と普及推進を図りながら、地域におけるお年寄りとのふれあいの場を作り、日頃かるたの練習等をおして青少年の育成を図る。

日頃の練習の成果を競い合う場として各市町村、各地区において予選を行ってもらい、2月に北海道子どもかるた大会を開催する。

期 日： 令和6年 2月18日(日) 開催予定

場 所： 定山溪温泉 定山溪ビューホテル

参加者： 小学生チーム32 中学生チーム32 合計 64チーム

(2) 親子ニュースポーツ体験・交流事業

コロナ禍で子どもやその保護者も体力が低下している。けがの少ないニュースポーツを親子で体験することで、体を動かす楽しみを味わい、親子で共通した話題を提供できる事業を展開する。本事業を、各市町村の事業に取り入れてもらえるように、関係者との連携を図り、道内の子ども達の体力向上の一助を図る。

期 日： 令和5年 4月～12月 開催予定

場 所： 5地区で開催予定（後志、日高、十勝、釧路、根室地区）

参加者： 1地区 50名 合計 250名予定

競技種目： ケージボール 指導：エスポラーダ北海道

： ゴールドッチ 指導：北海道フライングディスク協会

： モルック 指導：北海道大学モルックサークル

(3) 親子で取り組む学習活動事業

子どもの本離れ解消のための読書活動推進事業または、  
安心安全のための親子防災活動推進事業等を行う。

期 日： 令和5年5月～令和6年2月 開催予定

場 所： 3地区で開催予定（渡島 上川 オホーツク地区）

参加者： 1地区 50名 合計 150名予定

### 3 広報事業

(1) 「8月8日 子ども会の日」の啓発

子ども会活動の意義と必要性を社会や地域住民に知ってもらおうと子ども会活動の象徴日として5月5日の端午の節句と3月3日のひな祭りを足した8月8日を全子連では「子ども会の日」と定めてそれぞれの地域で啓発活動を行う。

(2) 組織の充実強化

道内179市町村中、125市町村が本会に加入している。見舞金加入者は令和元年61,465人が令和4年見込みで36,500人と大幅に減少しました。市町村子連が組織されているが本会に未加入のところや、単位子ども会はあるが全市町村の組織が未組織という地域があるので、結成を働きかけ道子連への加入推進を図る。

(3) 各地区子ども会活動の運営強化

子ども会活動の普及推進を図り、子ども会活動の未組織地域や未加入団体へ地区子連とともに協力して地域における子ども会活動の充実強化を図る。

#### (4) 広報活動事業

道子連の事業や子ども会の活動事例、全国的な動きを各地の関係者に伝えるためにHPを作成して公開するとともに、情報提供を行う。

#### (5) 活動事例報告事業

各地区の事業や市町村子ども会の活動事例を報告いただき、HPに掲載して公開するとともに、情報提供を行う。

### 4 顕彰事業

長年にわたり、道内各地で子ども会をとおして、地域の青少年育成活動及び地域づくり活動に携わり大きな成果を上げてきた団体（子ども会、ジュニアリーダー組織、育成組織・指導者組織）や個人（育成者・指導者、青年リーダー）の栄誉をたたえるために、本会の表彰規定に則り顕彰する。

また、本会の表彰を受けた中から全子連及び関係期間・団体等の表彰へ推薦する。

### 5 その他の事業

#### (1) 安全対策及び北海道子ども会見舞金事業

##### ア) 安全教育事業

子ども会活動中における事故に備えて安全思想の普及、安全教育の徹底を図るため資料の作成や地域における研修会等へ指導者の派遣、斡旋を行い安全な活動の推進を図る。

##### イ) 子ども会見舞金事業

子ども会活動中における事故に備えて北海道子ども会見舞金事業を運営し、事故が発生した時には規定により見舞金を支給するとともに、安全思想の普及、安全教育の徹底を図る。

##### ウ) 子ども会安全啓発初級指導者養成講習

子ども会活動中における事故に備え、活動中の事故を無くすことと安全教育の普及を図るため、全国子ども会連合会の養成基準により研修会を開催して、初級指導者の養成を行う。

期 日： 令和5年度内

場 所： 空知地区（事務局 南幌町）

参加者： 40名予定

(2) 関係機関、団体との連携

青少年健全育成についての事業を行う関係機関、諸団体との連携を密に保ち、協力して活動を進める。また、現在の国際情勢を考え国際交流事業へも積極的に取り組んでいく。

(3) レクリエーション講習

子ども会活動で展開できるレクリエーションを、子ども会リーダーを対象に講習会の要請が来た際に、道子連青年リーダー組織の「SUNNY」を派遣し、講習会を開催する。

6 会議の開催

(1) 総会

第11回総会	期 日	令和5年 6月24日 (土)
	場 所	北海道立道民活動センター

(2) 令和5年度正副会長会議

第1回正副会長会議	期 日	令和5年 6月 3日 (土)
	場 所	北海道立道民活動センター

第2回正副会長会議	期 日	令和5年11月予定
	場 所	未定

第3回正副会長会議	期 日	令和6年 3月9日 (土) 予定
	場 所	北海道立道民活動センター

(3) 理事会

第32回理事会	期 日	令和5年 6月 3日 (土)
	場 所	北海道立道民活動センター

第33回理事会	期 日	令和5年11月頃予定
	場 所	未定

第34回理事会	期 日	令和6年 3月9日 (土) 予定
	場 所	北海道立道民活動センター

(4) 監査会

令和4年度監査会	期 日	令和5年 5月22日 (月) 予定
	場 所	北海道立道民活動センター

(5) 子ども会見舞金審査会

	期 日	毎月 1回 予定
	場 所	北海道立道民活動センター